

一般社団法人 佐渡観光交流機構
令和7年度 活動紹介



島の観光を、もっと豊かに。



佐渡観光交流機構
Sado Tourism
Association



佐渡観光交流機構(DMO)ってどんな会社？

佐渡観光交流機構は、佐渡の観光を盛り上げ、地域を元気にするために活動している「**地域DMO(観光地域づくり法人)**」です。

2018年3月に、島内の2つの観光組織「佐渡観光協会」と「佐渡地域観光交流ネットワーク」が統合し、観光庁から登録DMOとして正式に認定されました。

かつて佐渡には年間120万人以上の観光客が訪れていましたが、旅行スタイルの変化や社会情勢の影響などにより減少が続き、2020年には約27万人まで落ち込みました。そうした状況の中で、「佐渡観光をもう一度元気にしたい」という思いから活動しているのが佐渡観光交流機構です。

私たちは、**佐渡の豊かな自然、歴史、文化、食、地域の方々などの魅力**を活かしながら、島全体をひとつの観光地として考え、観光プロモーションや旅行商品の造成、イベント企画、観光案内、インバウンド誘客など、さまざまな事業に取り組んでいます。

また、佐渡島の金山のユネスコ世界文化遺産登録を契機に、一過性の観光振興にとどまらず、島の歴史や文化への理解を深め、**地域への誇りや愛着につながる“シビックプライド”を醸成できる観光地域づくり**を目指しています。

さらに、**観光事業者だけでなく、地域住民や行政、さまざまな業種の方々と連携**しながら、「また来たい」「ここに住み続けたい」と思える佐渡づくりを進めています。

なお、当機構は会費収入や事業収入のほか、一部佐渡市からの補助金を受けて運営しています。

*DMOとは、Destination Management / Marketing Organizationの略で、地域の観光資源を活用し、観光振興を通じて地域経済の活性化や持続可能な地域づくりを推進する「観光地域づくり法人」です。国が地方創生やインバウンド推進を進める中で導入が進み、観光庁が「登録DMO制度」を創設し、各地域でDMOの設立が進められています。

なぜDMOが必要なの？

観光協会は「来てもらうこと」を中心に活動してきました。しかしいま佐渡に必要なのは、「**どんな人に、どう来てもらい、どのように地域により大きな満足と効果を生み出すか**」を戦略的に考え、**実行する組織です**。データを分析し、プロモーションを設計し、体験商品を造成し、事業者を支援する——そのすべてを束ねる司令塔として、DMOが必要とされています。

観光協会とDMOの違い

「観光協会と何が違うの？」——そんな声をよく聞きます。

従来の観光協会は、観光案内やイベント運営、観光PRなどを中心に、観光客を呼び込む役割を担ってきました。一方、DMOは、観光振興だけでなく、地域経済の活性化や持続可能な地域づくりまでを視野に入れ、地域全体を戦略的にマネジメントする組織です。

観光客数だけでなく、観光消費額や地域の満足度なども重視し、データ分析やマーケティングを活用しながら、行政や観光事業者、地域住民など多様な関係者と連携して地域の価値向上に取り組む点が、従来の観光協会との大きな違いです。

観光協会	佐渡観光交流機構(DMO)
観光案内やイベント運営、PRなどが主な役割	地域全体の観光戦略を立て、観光地を“経営”する役割
情報発信や誘客が中心	マーケティングやデータ分析をもとに地域課題を解決
単年度・個別事業になりやすい	中長期的な視点で地域全体をマネジメント
会員などの観光分野が中心	行政・交通・宿泊・地域住民など多様な関係者と連携
「観光客を呼ぶ」ことが目的	「地域経済を活性化し、持続可能な地域をつくる」ことが目的

スタッフ紹介

事務局長	佐藤
経営企画室長	山本
総務部 副部長	栗山
事業本部 部長	ウィロビー
	副部長 宮本
	鈴木、兵庫、中濱
国際交流員	アリサ



活動紹介 (一部抜粋)

市場調査、統計

佐渡市の観光の現状及び経年における観光動態の推移を把握し、有効な観光施策を検討するため、島外旅行者を対象とした来島目的や年代、性別等の属性等のデータを分析した上で報告資料を作成しています。

観光情報発信、誘客宣伝

佐渡観光交流機構では、さまざまなサービスの利用データを分析しながら、佐渡全体の情報発信の方向性を考えています。そのうえで、SNSを活用した観光情報の発信をはじめ、島内事業者から寄せられた情報の掲載、メディア向けのプレスリリース配信、県観光協会や島内事業者への情報共有などを行い、佐渡の魅力を幅広く発信しています。

観光資源開発と活用・保全、 着地型旅行商品の開発

佐渡の文化・歴史・自然など、地域ならではの魅力を活かした観光づくりを進めています。地域の事業者やインストラクター、住民の皆さんと協力しながら、佐渡らしい体験プログラムを企画し、体験予約サイト「サドベンチャー」で販売したり、旅行ツアーに取り入れたりしています。

また、旅行業の資格を持つDMOとしての強みを活かし、佐渡汽船の乗船券付きプランや宿泊プラン、団体旅行の手配など、地域事業者と連携した旅行商品の企画・販売も行っています。こうした取り組みを通じて、佐渡の魅力発信と地域経済の活性化につなげています。



サドベンチャーWebサイト

<https://www.enjoysado.net/>



インバウンド対策

海外からの観光客(インバウンド)の誘客を進めるため、さまざまな取り組みを行っています。

主な取り組みとして、多言語による観光情報の発信や海外向けSNS・WEBプロモーション、海外旅行会社やメディアへのPR、商談会への参加

などを実施しています。また、外国人観光客向けの体験プログラム造成や受入環境整備にも取り組み、島内事業者と連携しながら、海外旅行者が安心して佐渡を楽しめる環境づくりを進めています。さらに、佐渡金山の世界文化遺産登録をきっかけにより一層佐渡ならではの自然・文化・食・アクティビティを活かした高付加価値な観光コンテンツの造成を行い、滞在時間や観光消費額の向上にも取り組んでいます。



SDG's活動(GSTC, JSTS-D)

自然や文化、地域の暮らしを未来へ残しながら観光を進める「持続可能な観光(サステナブルツーリズム)」に取り組んでいます。

そのために、持続可能な観光の国際基準であるGSTCや、日本版基準であるJSTS-Dを参考にしながら、観光振興と環境・文化保全の両立を目指しています。

具体的には、佐渡の自然・食・文化などを組み合わせた体験プログラムの開発や、地域文化を次世代へつなぐ取り組みを進めています。例えば、地元の祭りなど地域行事の継続につながる観光プランづくりにも取り組み、観光を通じて地域文化の維持・継承を支えています。こうした活動を通じて、訪れる人にも地域の魅力や価値を“体験”として感じてもらえる観光づくりを進めています。

会員事業

観光や地域づくりに関する情報共有、研修会やセミナーのご案内、観光プロモーションへの参加支援、会員事業者の情報発信などを実施しています。また、会員同士の交流やネットワークづくりを通じて、新たな観光コンテンツや地域連携の創出にも取り組んでいます。さらに、観光客のニーズや市場動向などの情報提供を行い、地域事業者の魅力向上や受入体制強化を支援することで、地域全体の観光力向上を目指しています。



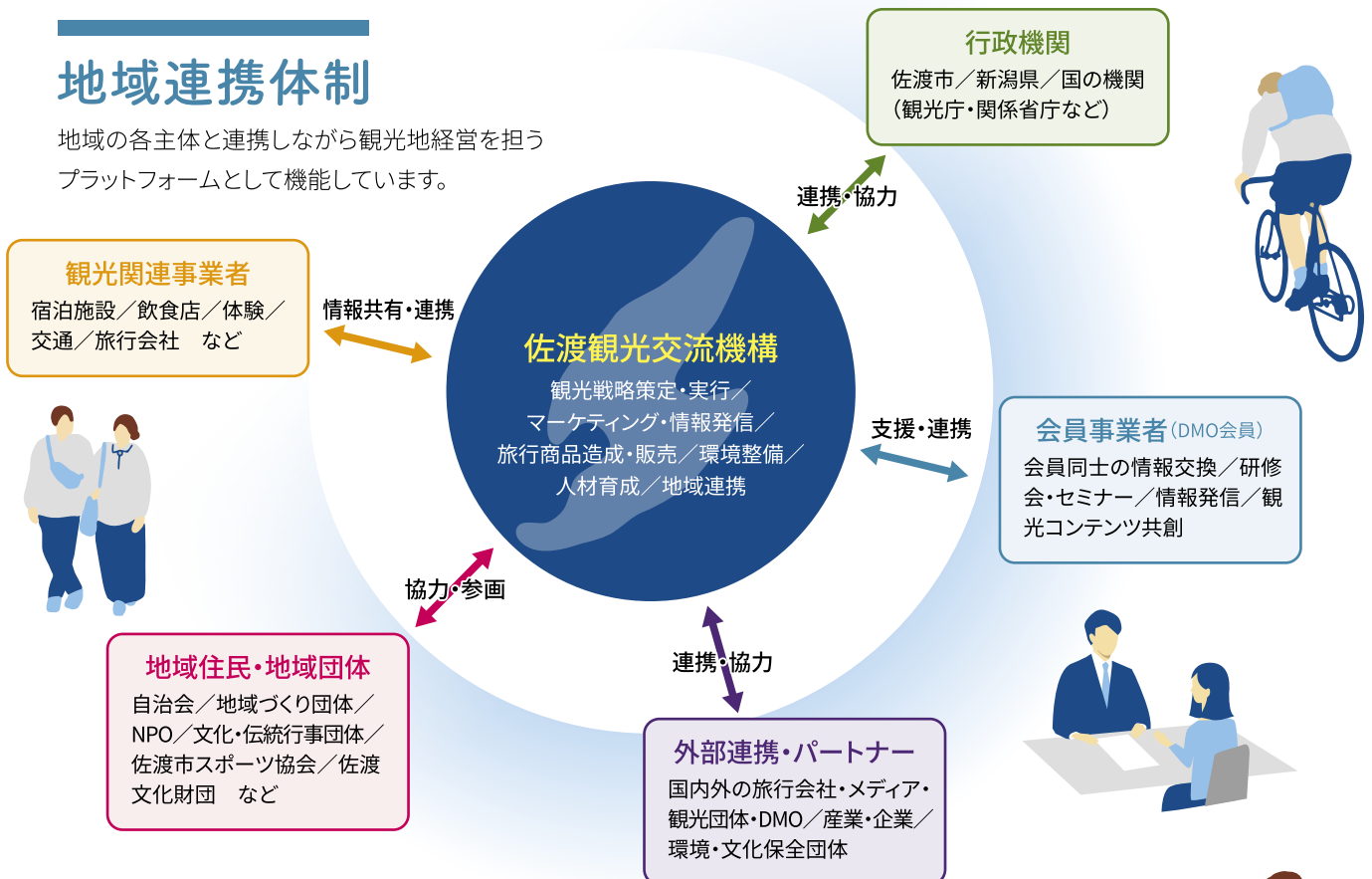
島内ゲストハウス交流会

佐渡島内のゲストハウス・民泊事業者および関係機関が連携し、受入体制の強化、情報共有、課題整理を通じて観光振興および地域活性化を図ります。

その他の事業一覧・詳細はコーポレートサイトへ

地域連携体制

地域の各主体と連携しながら観光地経営を担うプラットフォームとして機能しています。



観光庁の補助事業 (一部抜粋)

既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業

(令和3年度～令和5年度)

■実施主体:佐渡観光交流機構

新型コロナの影響で落ち込んだ観光地の再生と収益力向上を目的に、DMOが中心となり行政や事業者が連携しました。宿泊施設改修や露天風呂付客室整備、水盤テラス・地酒バー導入などを実施し、滞在満足度と消費額の向上を図りました。22事業者、総額約22億円の事業を実施しました。

アドベンチャーツーリズム等の新たなインバウンド層の誘致事業

(令和3年度)

■実施主体:島内宿泊事業者(佐渡観光交流機構 連携)

アウトドアアクティビティと食・文化を組み合わせた 長期滞在型インバウンド向けコンテンツの開発・実証

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業

(令和6年度～)

■実施主体:新潟県・佐渡観光交流機構 等

地域資源を活かしながら、訪日外国人旅行者の満足度や観光消費額の向上を目指す事業です。DMOや自治体、観光事業者等が連携し、地域ならではの体験コンテンツ造成、受入環境整備、情報発信、人材育成などを実施。高品質で持続可能な観光地づくりを通じて、地域経済の活性化と観光産業の高付加価値化を推進することを目的としています。

観光DX推進による地域活性化モデル実証事業 (令和7年度)

AIや観光データを活用した需要予測や情報発信の構築を佐渡汽船などの事業者と連携して構築。観光客の動きやニーズを分析し、効果的なプロモーションや観光の混雑分散、デジタルチケット活用などを進め、観光客の利便性向上と地域事業者の売上向上につなげていきます。

その他の事業一覧はコーポレートサイトへ



佐渡観光交流機構(DMO)の地域貢献

～観光を通じた地域経済への波及効果～

佐渡DMOでは、観光振興を通じて交流人口の拡大や地域経済の活性化に取り組んでいます。観光客の誘致だけでなく、観光消費の拡大や地域事業者との連携により、地域全体へさまざまな経済効果を生み出しています。

佐渡島来島者概況(R7年度)

佐渡を訪れた観光客の動向

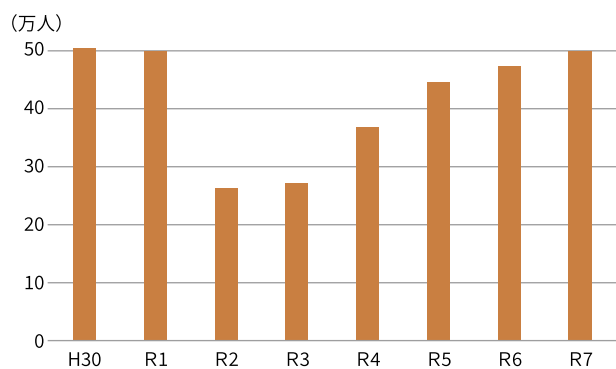
年間来島者数や宿泊・日帰り比率、国内外からの来訪状況など、佐渡観光の現状を示しています。観光需要の変化を把握し、今後の観光戦略や受入体制整備に活用しています。

入込者数(推計) **499,093人** (海路497,142人+クルーズ1,951人) 対前年比: 106%

外国人延べ宿泊者数 **8,214人** 対前年比: 131%

観光目的来島 **319,227人** 対前年比: 114%

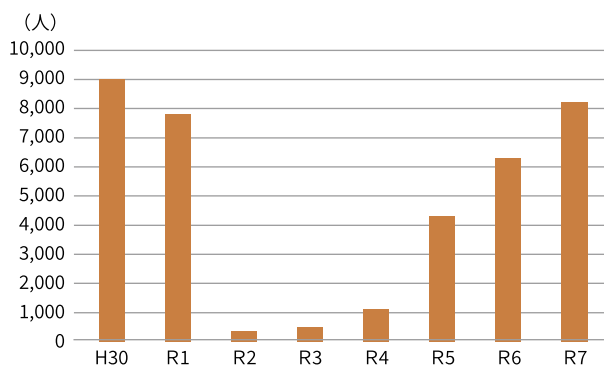
■入込者数の推移(H29～R7)



※R2～R4はコロナ禍による激減。R7は外国人入込も過去最高水準に回復。

出典: R7年度来島者動態調査分析業務報告(抜粋)/DMO経済裨益データ

■外国人延べ宿泊者数の推移(H29～R7)



令和7年度観光消費額(一人当たり)内訳

観光が地域にもたらす消費効果

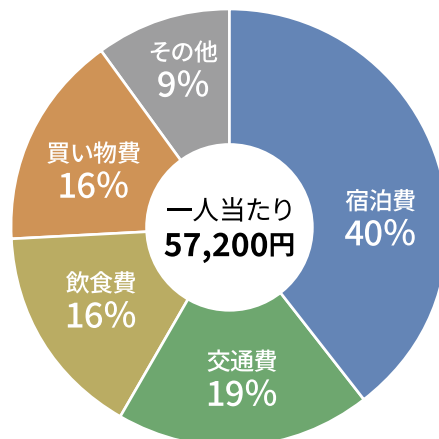
宿泊、飲食、交通、土産、体験など、観光客による消費額の内訳を示しています。観光消費は地域内のさまざまな産業へ波及し、地域経済を支える重要な役割を担っています。

総消費額(一人当たり) **57,200円**

[内訳]

- 宿泊費.....22,700円
- 交通費.....10,600円
- 飲食費.....9,400円
- 買い物費.....9,000円
- その他.....5,500円

※令和6年度実績値出典: 佐渡観光交流機構調べ



DMO事業による地域への経済効果

観光プロモーション、旅行商品造成、インバウンド誘客、体験コンテンツ造成など、佐渡DMOの取り組みによって生まれた地域経済への効果を紹介합니다。観光消費の拡大や事業者支援を通じて、地域内での経済循環につなげています。

佐渡市 入込数 **499,093人**

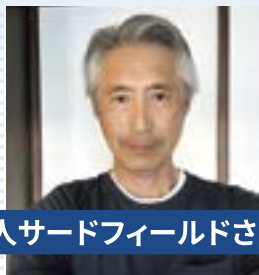
佐渡市 全体観光消費額 **285億4,810万円** (平均消費額57,200円)

地域への裨益
(推計含む)

約8億9,600万円 消費額・直接裨益含む

佐渡市
全体消費額の
約3%

地域の声



一般社団法人サードフィールドさど

- 事業内容: アクティビティ体験
- メッセージ: サドベンチャーを通して予約管理やお客対応をしていただけるので、天候による中止時の連絡や調整もスムーズです。安心してアクティビティ運営ができ、とても助かっています。(代表 本間勝さま)



さどやニッポン株式会社

- 事業内容: 佐渡島の祭りを中心とした伝統芸能の継承と道具作りやその体験を提供、ツアー造成、イベント、映像撮影等
- メッセージ: 国内外の関係機関を繋げてくれるおかげで佐渡島の文化や農業の可能性を感じることができています。(代表取締役社長 相田忠明さま)



サンフロンティア佐渡株式会社

- 事業内容: 宿泊／二次交通／アウトドアショップ／お土産事業／水産加工場／体験・観光コンテンツ企画運営
- メッセージ: DMOとの連携により、地域の魅力をより効果的に商品造成・発信できるようになりました。今後も地域一体となり、持続可能な観光の発展に貢献していきたいと考えています。



UMAMI Labo

- 事業内容: 飲食店コミュニティ、ケータリング
- メッセージ: DMOとの長年の協働で、知られざる佐渡の絶景を舞台に多くのイベントを実施。新たな場所や人との出会いが私たちの活動を豊かにしてくれました。(代表 尾崎邦彰さま)



株式会社相川車座

- 事業内容: まちづくり開発事業・分散型ホテル運営
- メッセージ: 2020年の4社連携協定から6年。現地でともに取り組んできた観光地域づくりの取り組みを今後も継続して地域全体の活性化に繋げる活動を行っていききたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。(代表 雨宮隆三さま)

私たちが島内3か所で観光案内所業務を行っています！

佐渡観光情報案内所

JNTO(日本政府観光局)カテゴリー2(広域案内、英語常時対応認定)
〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊353番地
(佐渡汽船ターミナル内)
TEL:0259-27-5000 FAX:0259-23-5030



相川観光案内所

JNTO(日本政府観光局)カテゴリー2(広域案内、英語常時対応認定)
〒952-1562 新潟県佐渡市相川三丁目浜町18
きらりうむ佐渡内
TEL:0259-74-2220 FAX:0259-74-3321



南佐渡観光案内所

〒952-0604 新潟県佐渡市小木町1935-26
TEL:0259-86-3200 FAX:0259-86-2237



一緒に島を盛り上げましょう！



佐渡観光交流機構
Sado Tourism
Association

補助事業・連携の相談窓口案内はこちら

一般社団法人 佐渡観光交流機構

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊353番地(佐渡汽船ターミナル内)
TEL:0259-23-5230 FAX:0259-23-5030 E-mail:info@visitsado.com
コーポレートサイト <https://sado-dmo.com/>
さど観光ナビ <https://www.visitsado.com/>



コーポレート
サイト



さど観光ナビ